

情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU-T部会報告

- I. WTSA-08の結果について
- II. 今後のITU-T部会での検討体制

I . WTSA-08の結果について

2008年世界電気通信標準化総会 (WTSA-08) の概要

世界電気通信標準化総会 (WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

: ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門 (ITU-T) の総会であり、4年に1回開催。

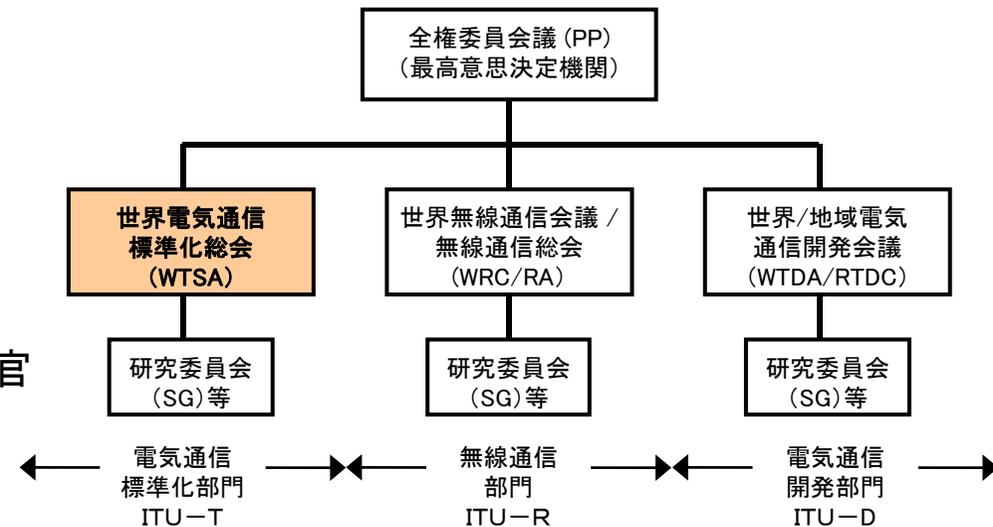
会期 平成20年10月21日 (火) ~ 30日 (木) (10日間)

場所 南アフリカ共和国 ヨハネスブルグ

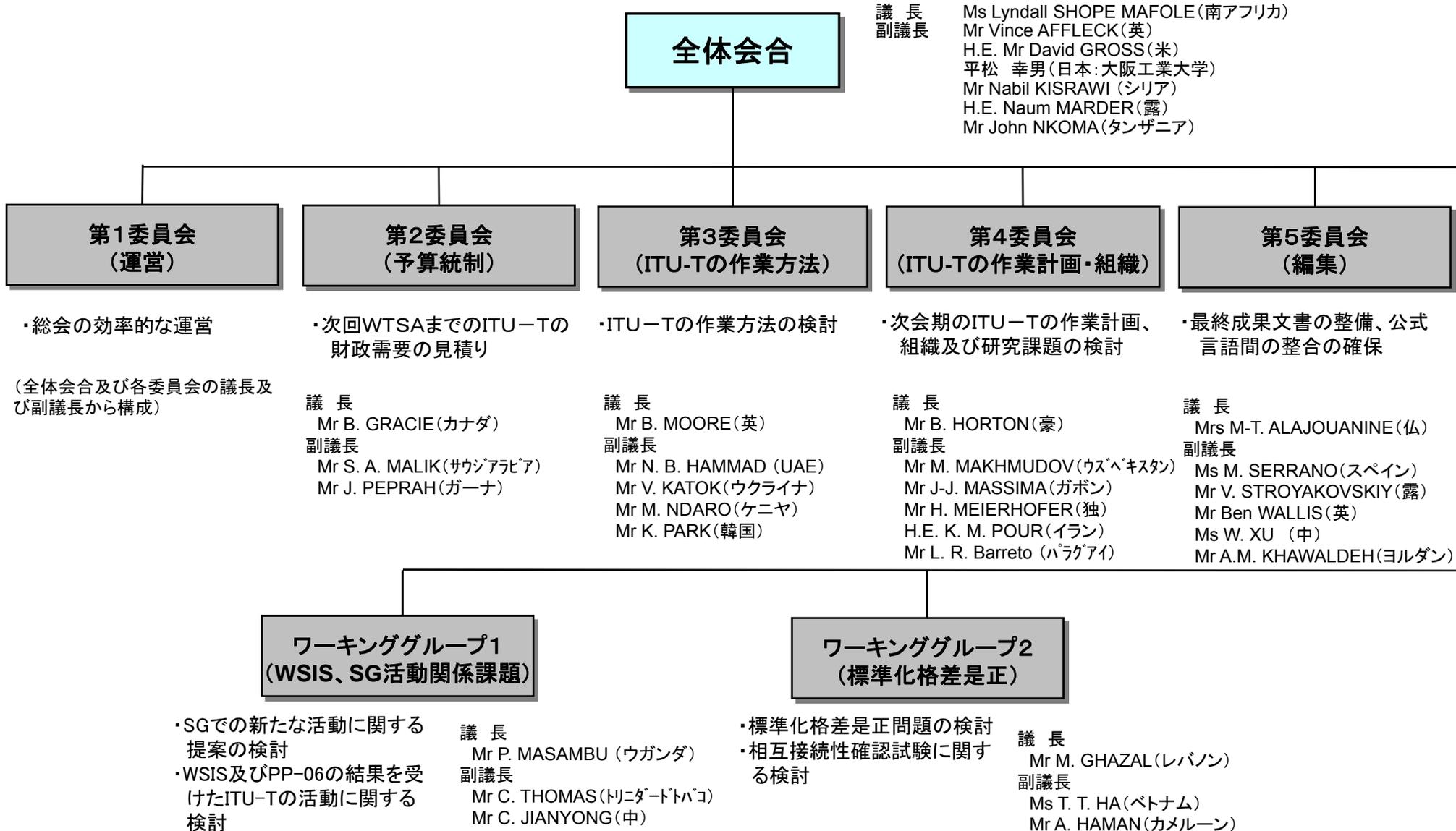
出席者 99ヶ国及び12の国際機関等から約770名
日本からは総務省河内大臣官房総括審議官
以下38名が参加

主な議題

- ①次期研究会期における研究体制の決定 (SG構成の見直し)
- ②SG議長・副議長の選出
- ③SG会合から提出された勧告案・次期研究会期の研究課題の承認 等



WTSA-08の構成



WTSA-08結果概要

I. 勧告案等の承認

- ・TSAGにおいて審議された勧告改訂案6件(A.1、A.2、A.7、A.8、A.11、A.12)及びD.50改訂案を承認。(参考3参照)
- ・新規勧告2件(A.31及びD.156)を承認。
- ・TSAGにおいて審議された決議案を含む新たな決議21件、既存決議の改訂27件を承認。(参考4,5参照)

II. 次研究会期の体制の検討(SG再編)

<日本提案のポイント>

1.【SG11関係】 プロトコルは通信方式の要。

ITUのvisibilityを維持し、世界規模の相互接続性を確保の観点からSG11単独維持を主張。

2.【SG9及びSG16関係】 ①SG9については、映像アプリケーションに関する課題を集約した新たなSGに発展させる。

②SG16については、ネットワークID、ホームネットワーク等のユビキタスアプリケーションに関する課題を集約した新たなSGに発展させる。

3.【SG6関係】 SG6の研究課題をSG5及びSG15へ振り分け、単独SGとしては維持しない方向。

↓
ほぼ日本提案のとおり結着

III. 次研究会期における研究課題

各SGで研究する次研究会期の課題の内容についてはSGからの提案のとおり承認。

1. 次研究会期の体制の検討(SG再編)

SG再編に係る検討 -ポイント及び結果-

1. 全体のポイント

- ・今会合は決議35が効力を発する最初の会合。
- ・14のSG(TSAG含む。)のうち11のSGで議長が2期目の任期を満了。
- ・この機会にSGの大幅な見直しを実施。

決議35

特定の者が長年にわたりSGの役職に留まる事態を解消し、新たな人材の登用促進する観点から、SG議長、副議長の任期を2期8年までに制限する決議。WTSA-2000で採択

2. 個別の議論と結果

①アフリカ・アラブ中心の途上国の意見

参加者が少数となる途上国事情に配慮し、会合開催数を抑えるためSG数を大幅に削減すべき(13SG⇒8SGまで削減)

➡ **10SG体制とする(3SGを廃止統合する)ことで結着**

②SG11の単独維持

①に乘じ、欧州はSG11(プロトコル)をSG13(ネットワークアーキテクチャ)及びSG19(移動通信ネットワーク)と統合しSG数を削減することを提案(プロトコルの標準化を3GPP等に委ねることを意図したもの。)

➡ **我が国主張のとおり、SG11を単独維持、SG13及びSG19を統合することで結着**

③サービスSGの指向(SG9及びSG16関係)

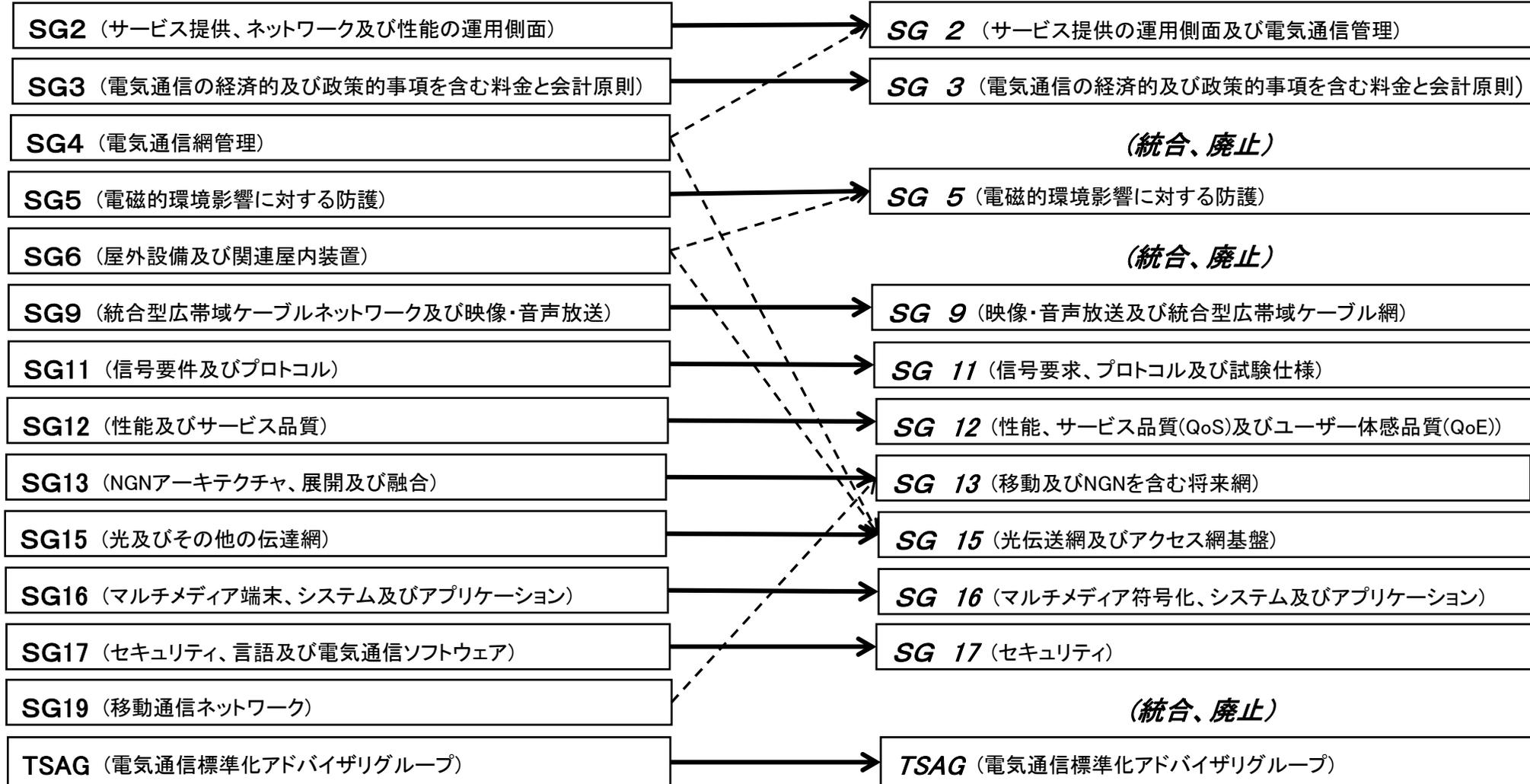
- SG9(CATV)及びSG16(マルチメディア)との間でIPTV関連の研究課題が重複。
- 米国中心のCATV事業関係者は、「SG9を基に動画サービス全般を扱うSGへ発展させる」あるいは「これまでのSG9課題が分散されないことを条件にSG9及びSG16を統合する」のいずれかとすべき旨を主張。
- 欧州及び米テレコム関係者は、IPTV課題のSG9主導に反対。IPTV関連課題をSG16へ集約しSG9はCATV課題に限定すべき旨を主張。
- 日本は、サービスに着目して課題を整理したSG(サービスSG)としてSG9及びSG16をそれぞれ維持すべき旨を主張。

➡ **SG9及びSG16をそれぞれ単独維持し、IPTV関連課題はco-located会合を開催して検討することで結着**
サービスSGとのアイデアに理解は示されたが今後の検討として持ち越し

新研究会期の研究体制 -SG再編の全体像-

旧SG体制(2005-2008年) <13SG+TSAG >

新SG体制(2009-2012年) <10SG+TSAG >



【議長・副議長】

- ・我が国から立候補したSG議長2名、副議長7名全てが選出された。
- ・アジアからは5名の議長(11議長ポスト中、日②、韓②、中①)及び24名の副議長が選出された。(地域別最大数)

2. 新たな決議の採択

ITUマークに関する決議【決議76】

- 背景**
- ・ITUがデジタルデバインドを埋めるための役割を担っている。
 - ・途上国における情報通信機器の導入に関して『相互接続性の保障』、『導入コストの低廉化』が望まれている。

ITU-T事務局(TSB)の提案

情報通信機器の製品品質と相互運用性に関する信頼を獲得するためITU勧告への準拠を目に見える形で表示する『ITUマーク』制度を導入

- 【ねらい・効果】**
- ・ ITU勧告の信頼性の向上
 - ・ 異なったベンダーの機器でのエンド・トゥ・エンドの相互接続性の向上
 - ・ 途上国の抱える問題解決への助け
 - ・ オペレーターのコストダウンに繋がる
 - ・ 一般利用者へのITUのvisibilityの向上

我が国の提案

『ITUマークの意義、目的の明確化』、『加盟各国の国内基準認証制度等の現状に関する情報の共有』、『ITUマークを付与する対象となる標準、製品の特定』、『ITUマーク制度の実現に向けた課題、問題点を検討するための体制の構築』が必要である旨、ITU事務総局長及びTSB局長へ事前に意見書を提出。

以下の事項についてWTSAの場で提案。

- ITUマークは、ITU勧告に準拠した製品の相互接続性に対する保証を与えるべきものとすべき。
- 相互接続性の検討はプロトコルの検討が重要。プロトコル検討のSG(SG11)を維持し当該SGでITUマークの導入に向けた研究を担当すべき(SG内に専門家グループを創設すること含む。)

決議概要

- ・ITUマーク制度の導入に向け、相互接続性試験を扱う勧告を可能な限り早急に作成
- ・ITU-TにおいてITU及び製造業者に対する全体的な影響、国内及び国際規格との整合性等について検討を行い2009年の理事会へ報告すること。

ICT利用による気候変動対策に関する決議【決議73】

背景

- ・ICT利活用と気候変動に関するシンポジウムが開催（H20.4京都、H20.6ロンドン）されITUにおける国際標準化活動の一環として議論が必要との共通認識が形成された。
- ・H20.7月に「Focus Group on ICTs & Climate Change」を設立し、ICT利活用によるCO2排出削減量を客観的に評価する手法等について検討を開始。
- ・FGはH21.4月までに検討結果を報告書に取りまとめる予定。

我が国の提案

- FGでの検討結果を受けてITU-Tにおいて国際標準化に向けた検討を継続すべき。TSAGにおいてそのための検討体制を決定すべき。
- 今後の検討においてもITU-Tメンバー以外の専門家の意見を取り入れる仕組みをつくるべき。

主な議論

数値目標の設定

【欧州】決議にCO2排出削減量等の具体的な数値目標を記述すべきと主張。

【日本】国際的に合意された数値とは言えない。既にハイレベルで決定されている数値（UNFCCC（気候変動に関する国際連合枠組条約）で議論されている数値等）との整合性が不明であり記述すべきではない旨を主張。

➡ 具体的な数値目標の記載は行わないことで結着。

決議概要

- ・UNFCCCの目標に合うためにICTの使用による温室効果ガス(GHGs)の排出削減に向け努めること。
- ・TSAGにおいてITU-Tメンバー以外の貢献を含めた今後の検討体制を検討すること。

先進国と途上国の標準化格差への取り組み

ア 標準化格差の是正に向けた取り組みに関する決議

- ・【決議56】(新規) 途上国からのTSAG及びSG副議長の役割
- ・【決議58】(新規) 特に途上国におけるコンピュータセキュリティ上の脅威に対する国家組織としての対処チームの創設の促進
- ・【決議59】(新規) 途上国からの電気通信オペレータの参加の促進
- ・【決議74】(新規) ITU-T活動における途上国からのセクターメンバーの参加
- ・【決議76】(新規) 適合性及び相互接続性試験、途上国支援、ITUマークプログラムの将来的な実現に関する検討

イ 地域グループ活動を重視し、活性化させるための決議

- ・【決議54】(改訂) 地域グループの創設

ウ 大学研究者のITU-Tへの参加を促進するための決議

- ・【決議71】(新規) アカデミア、大学及びそれらの関連研究機関のITU-T活動への参加の許可

3. まとめ

ITU-Tの新たな取り組み

1. 利用者のニーズ、サービスの実現に着目した取り組み

- 技術的事項に基づく視点のみではなく、実現すべきサービスに基づく視点をも意識して、SGを再編
- SG16は新サービス(ユビキタスアプリケーション、ホームネットワーク等)の標準化を担当

2. 途上国の要望に対する取り組み

- 標準化格差の是正に向けた努力(ICT分野の標準を利用した途上国の問題解決)
- 途上国の参加の促進
- 相互接続性の確保に向けた取り組み(ITUマーク)
- 地域グループの創設、活用、活性化

3. 新たな分野への取り組み

- ICTの利活用による気候変動対策
- 学術機関、大学研究者の参加の促進

- ・ITU-T活動の活性化のために我が国への期待大
- ・ITU-Tの活動を通して我が国の**国際競争力の強化を図ることが必要**

Ⅱ. 今後のITU-T部会での検討体制

ITU-T部会における委員会の構成の変更

H17-H20年

H21-H24年

ITU-T部会 (通信規格課)
 部会長:酒井 善則(東京工業大学)

ITU-T部会 (通信規格課)
 部会長:酒井 善則(東京工業大学)

サービス・ネットワーク運用委員会 (番号企画室)
 主査:相田 仁(東京大学大学院)

網管理システム・保守委員会 (通信規格課)
 主査:加藤 聰彦(電気通信大学)

電磁防護・屋外設備委員会 (電気通信技術システム課)
 主査:日高 邦彦(東京大学大学院)

伝達網・品質委員会 (通信規格課)
 主査:三谷 政昭(東京電機大学)

ケーブル網・番組伝送委員会 (地域放送課)
 主査:松本 修一(株KDDI研究所)

次世代ネットワーク委員会 (通信規格課)
 主査:浅谷 耕一(工学院大学)

移動通信ネットワーク委員会 (通信規格課)
 主査:竹中 豊文(日本大学)

マルチメディア委員会 (通信規格課)
 主査:相澤 清晴(東京大学大学院)

セキュリティ・言語委員会 (通信規格課)
 主査:小松 尚久(早稲田大学)

IPTV特別委員会 (通信規格課・地域放送課)
 主査:伊東 晋(東京理科大学)

作業計画委員会 (通信規格課)
 主査:平松 幸男(大阪工業大学大学院)

SG 2

SG 4
藤井(NTT)

SG 5

SG 6

SG 15
前田(NTT)

SG 12

SG 9
松本(KDDI)

SG 11
平松(大工大)

SG 13
森田(NTT)

SG 19
田村(NITTECO)

SG 16
内藤(三菱電機)

SG 17
渡辺(KDDI)

IPTV-GSI

TSAG
岡村(SCAT)

SG 2

SG 5

SG 15
前田(NTT)

SG 12
高橋(NTT)

SG 9
宮地(KDDI)

SG 11
鈿吉(NEC)

SG 13
森田(NTT)

SG 16
内藤(三菱電機)

SG 17
中尾(KDDI)

IPTVに関する
課題

TSAG
岡村(SCAT)

サービス・ネットワーク運用委員会 (番号企画室)
 主査:相田 仁(東京大学大学院)

伝送網・電磁環境委員会 (電気通信技術システム課)
 主査:高瀬 晶彦(株日立製作所)

品質委員会 (電気通信技術システム課・通信規格課)
 主査:鈴木 陽一(東北大学)

ケーブル網・番組伝送委員会 (地域放送課)
 主査:松本 修一(株KDDI研究所)

プロトコル委員会 (通信規格課)
 主査:千村 保文(沖電気工業(株))

次世代ネットワーク委員会 (電気通信技術システム課・通信規格課)
 主査:浅谷 耕一(工学院大学)

マルチメディア委員会 (通信規格課)
 主査:日比 慶一(シャープ(株))

セキュリティ・言語委員会 (情報セキュリティ対策室)*
 主査:小松 尚久(早稲田大学)*H21.3以降通信規格課から事務局移管

IPTV特別委員会 (情報通信作品振興課・地域放送課)
 主査:

作業計画委員会 (通信規格課)
 主査:平松 幸男(大阪工業大学大学院)

※1 SG3はITU-T部会の所掌ではないため、対象外。

※2 SG名の下の名前は我が国からの議長・副議長(下線は副議長)

※3 委員会名の後ろの括弧内は担当事務局

※4 名前は敬称略

參考資料

SG	SG名	所掌範囲	リードSG
SG2	サービス提供の運用側面及び電気通信管理	サービス提供の原則・定義、ナンバリング、ネーミング、アドレッシング、リソース割当、ルーティング、ヒューマンファクター、通信網の運用及び管理、管理システムを経由した電気通信サービス、通信網及び設備管理、IdM識別子のフォーマット及び構成の整合性の確保等の研究	<ul style="list-style-type: none"> サービス定義、ナンバリング及びルーティング 災害救済/早期警告のための電気通信 電気通信管理
SG3	電気通信の経済的及び政策的事項を含む料金と会計原則	国際電気通信サービスの料金及び会計原則、関連する電気通信の経済的・政策的事項に関する研究	—
SG5	電磁的環境影響に対する防護	干渉及び雷からの電気通信ネットワーク及び設備の防護に関する研究 既存メタル回線の屋外設備及び関連屋内設備の研究	—
SG9	映像・音声放送及び統合型広帯域ケーブル網	テレビジョン・音声番組の放送局間素材伝送、放送拠点への分配(一次分配)、視聴者端末への分配(二次分配)やインタラクティブ・サービス等の番組連携サービスのための電気通信システムの使用の研究 家庭へのテレビジョン・音声番組の配信のために主に設計されたケーブル及びハイブリッド網の統合広帯域ネットワークとしての使用の研究	統合型広帯域ケーブル及びテレビジョン網
SG11	信号要求、プロトコル及び試験仕様	IP通信網、NGN、モビリティ、いくつかの信号側面に関するマルチメディア、アドホックネットワーク、サービス品質等の信号要件及びプロトコルに関する研究 NGN及び新たな通信網のための信号アーキテクチャ及び試験仕様の研究	<ul style="list-style-type: none"> 信号及びプロトコル インテリジェント・ネットワーク
SG12	性能、サービス品質(QoS)及びユーザー体感品質(QoE)	端末、通信網及びサービスの全領域における性能、サービス品質(QoS)及び体感品質(QoE)の研究 エンド・トゥ・エンドのユーザー満足を確保するための相互接続性の研究	サービス品質及び体感品質
SG13	移動及びNGNを含む将来網	将来網に関する必要要件、アーキテクチャ、進化及び融合に関する研究(SGをまたがるNGNプロジェクト管理調整等を含む。) IMT、無線インターネット、FMC、相互接続性等の移動通信網のネットワーク側面に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 将来網及びNGN モビリティ管理及びFMC
SG15	光伝送網及びアクセス網基盤	光伝送ネットワーク、システム及び設備等に関する研究 伝送網に係る設備、維持管理、試験、器具、測定技術に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> アクセス網伝送 光技術 光伝達網
SG16	マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション)	ユビキタスアプリケーション、既存ネットワーク、NGNや将来ネットワークを含むサービス及びアプリケーションにおけるマルチメディア性能に関する研究(アクセスビリティ、マルチメディアアーキテクチャ、端末、端末プロトコル、信号処理、メディア符号化、ネットワーク信号処理設備等のシステムを含む。)	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション ユビキタスアプリケーション (e-healthなどの'e-everything') 障害者に対する電気通信/ICTアクセスビリティ
SG17	セキュリティ	サイバーセキュリティ、スパム対策、IDマネジメントを含むセキュリティに関する研究 技術言語及びその使用手法、その他電気通信システムのソフトウェア側面に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 電気通信セキュリティ IDマネジメント(IdM) 言語及び記述技術

新研究会期のSG及びTSAG議長

- ・旧研究会期は、我が国からSG議長2名、SG副議長8名を輩出。
- ・新研究会期は、我が国からSG議長2名、副議長7名の全ての候補者が選出。
- ・伝送網を扱い全SGの中でも格段に参加者が多いSG15の議長及びアプリケーション開発を扱い新たなサービスを創造するSG16の議長を確保。

表 ITU-Tの標準化体制と日本からの役職者

旧研究会期(2005～2008年)

新研究会期(2009～2012年)※下線朱書きは新規任命

SG	議長	日本からの役職者
SG2	Mrs. M-T Alajouanine (仏)	—————
SG3	Mr. K-S Park (韓)	副議長 津川 清一(KDDI)
SG4	Mr. D. Sidor (米)	副議長 藤井 伸朗(NTT)
SG5	Mr. R. Pomponi (伊)	—————
SG6	Mr. F. Montalti (伊)	—————
SG9	Mr. R. R. Green (米)	副議長 松本 修一(KDDI)
SG11	平松 幸男 (大工大(NTT))	議長 平松 幸男(大工大(NTT))
SG12	Mr. J-Y. Monfort (仏)	—————
SG13	Mr. B. Moore (英)	副議長 森田 直孝(NTT)
SG15	前田 洋一 (NTT)	議長 前田 洋一(NTT)
SG16	Mr. P-A Probst (スイス)	副議長 内藤 悠史(三菱電機)
SG17	Mr. H. Bertine (米)	副議長 渡辺 裕(KDDI)
SG19	Mr. J. Visser (加)	副議長 田村 基(ドコモ)
TSAG	Mr. G. Fishman (米)	副議長 岡村 治男(SCAT)

SG	議長	日本からの役職者
SG2	Mrs. M-T Alajouanine (仏)	—————
SG3	Mr. K-S Park (韓)	副議長 津川 清一(KDDI)
(廃止、統合)		
SG5	<u>Mr. A. Zeddani (仏)</u>	—————
(廃止、統合)		
SG9	<u>Mr. C. Sandbank (英) ※1</u>	副議長 <u>宮地 悟史(KDDI)</u>
SG11	<u>Mr. W. Feng (中)</u>	副議長 <u>鈕吉 薫(NEC)</u>
SG12	<u>Mr. C. A. Dvorak (米)</u>	副議長 <u>高橋 玲(NTT)</u>
SG13	<u>Mr. C-S Lee (韓)</u>	副議長 森田 直孝(NTT)
SG15	前田 洋一 (NTT)	議長 前田 洋一(NTT)
SG16	<u>内藤 悠史(三菱電機)</u>	議長 <u>内藤 悠史(三菱電機)</u>
SG17	<u>Mr. A. Kremer (露)</u>	副議長 <u>中尾 康二(KDDI)</u>
(廃止、統合)		
TSAG	<u>Mr. John Visser (加)</u>	副議長 岡村 治男(SCAT)

※1 WTSA-08終了後2008年12月中旬に逝去

新研究会期のSG及びTSAG議長 -国別ポスト数-

国名	議長	副議長	旧研究会期との比較等
フランス	2	3	欧州 議長 6 → 4※ ¹ 副議長 28 → 21 ※ ¹ WTSA終了後、SG9議長Sandbank氏(英)が逝去
英国	1※ ¹	6	
イタリア	0	2	
スイス	0	1	
ドイツ	0	1	
ロシア	1	6	
ウクライナ	0	2	
シリア	0	2	アラブ 議長 0 → 0 副議長 6 → 10 ※ ² Arab及びATUの両組織へ加盟
レバノン	0	1	
UAE	0	3	
サウジアラビア	0	1	
スーダン※ ²	0	2	
エジプト※ ²	0	1	アフリカ 議長 0 → 0 副議長 4 → 8(11)※ ³ ※ ² Arab及びATUの両組織へ加盟 ※ ³ 括弧内は※ ² を加えた数
ウガンダ	0	2	
コートジボワール	0	1	
ガボン	0	1	
ギニア	0	1	
ケニア	0	1	
モロッコ	0	1	
タンザニア	0	1	
米国	1	6	アメリカ 議長 5 → 2※ ¹ 副議長 11 → 12
カナダ	1	0	
ブラジル	0	3	
アルゼンチン	0	1	
キューバ	0	1	
トリニダード・トバゴ	0	1	
日本	2	7	アジア・太平洋 議長 3 → 5 副議長 19 → 24
韓国	2	6	
中国	1	8	
オーストラリア	0	1	
イラン	0	2	
計	11	75	議長 14 → 11 副議長 68 → 75

勧告案の承認

表1 WTSA-08で承認された勧告案(TSAG関係)

文書	種別	勧告名
A.1	改訂	ITU-Tに割り当てられた課題の研究寄書のための提案 (Work methods for study groups of the ITU Telecommunication Standardization Sector (ITU-T))
A.2	改訂	ITU-Tに割り当てられた研究課題に関する寄書の発表方法 (Presentation of contributions to ITU-T)
A.7	改訂	フォーカスグループ(FG)の作業方法及び手続き (Focus Groups: Working methods and procedures)
A.8	改訂	新規及び改訂勧告のための代替承認手続き (Alternative approval process for new and revised ITU-T Recommendations)
A.11	改訂	ITU-T勧告及びWTSA議事録の出版 (Publication of ITU-T Recommendations and WTSA proceedings)
A.12	改訂	ITU-T勧告の識別表示及びレイアウト (Identification and layout of ITU-T Recommendations)
A.31	新規	ITU-Tでのセミナー及びワークショップ編成の調整要件及びガイドライン (Guidelines and coordination requirements for the Organization of ITU-T seminars and workshops)

表2 WTSA-08で承認された勧告(SG3関係)*

文書	種別	勧告名
D.50	改訂	国際インターネット接続 (international Internet connection)
D.156	新規	ネットワーク外部性 (Network Externalities)

※SG3についてはITU-T部会の所掌の範囲外であるため参考扱い

WTSA-08で新たに承認された決議 ～21件～(その1)

決議番号 WTSA番号	決議タイトル	概要
決議 56 [C]	途上国からのTSAG及びSG副議長の役割 (Roles of TSAG and ITU-T study group vice-chairmen from developing countries)	先進国と途上国間の標準化格差是正のため、TSAG及びITU-TのSG副議長に、副議長が所属する地域からITUの標準化活動への参加を促すように指示。ITU地域事務所に対しては、予算内で副議長を支援するように指示、TSB局長にはBDT局長との連携を指示
決議 57 [E]	ITU-R,ITU-T及びITU-Dにおける相互関係事項に関する調整及び協力の強化 (Strengthening coordination and cooperation among ITU-R, ITU-T and ITU-D on matters of mutual interest)	ITU-R、ITU-T及びITU-Dの3つの部門に互いに関係のある問題に関し、RAG、TSAG及びTDAGにこれらの問題の整理をし、互いに協力・協調できるような仕組みの強化を指示
決議 58 [L]	特に途上国におけるコンピュータセキュリティ上の脅威に対する国家組織としてのチームの創設の促進 (Encourage the creation of national Computer Incident Response Teams, particularly for developing countries)	CIRTが必要とされているが現時点でCIRTのない国においてCIRTを創設することを支援するため、TSB局長に対して、CIRT創設に必要な事項についてTDB局長と連携するよう指示
決議 59 [N]	途上国からの電気通信オペレータの参加の促進 (Enhancing participation of telecommunication operators from developing countries)	途上国にある子会社もITU-Tの標準化活動に参加するように、TSB局長に対して、先進国にある親会社（セクター・メンバー）を促すように指示。また、途上国の電気通信事業者が標準化活動に参加できるような仕組み作りについても指示
決議 60 [R]	番号付与システムの進化及びそれらのIPベースシステム/ネットワークとの融合の課題を受けて (Responding to the challenges of the evolution of the numbering system and its convergence with IP-based systems / networks)	IPベースのネットワークの普及やNGNへ移行に関し、ITU-T SG2に対して、電気通信識別/番号資源の構造及び保守に必要な事項について関連するSGと連携して研究すること等を指示し、関連SGに対しては、各SGの研究が番号システムに与える影響の調査等において、SG2をサポートするよう指示
決議 61 [S]	国際電気通信番号資源の不正利用 (Misappropriation of international telecommunication numbering resources)	不正があった際に、国内規制機関が通信事業者に対してルーティング情報を公開するように要請できる仕組み作りを検討することを指示
決議 62 [U]	紛争解決 (Dispute settlement)	国際接続に関する紛争処理問題の解決方法に関し、ITU-T SG3に対して迅速な検討を指示し、各メンバーに対して、本件に関してITU-T勧告を遂行することや更なる検討を行うことを指示

WTSA-08で新たに承認された決議 ～21件～(その2)

決議 63 [BB]	ノーマディックな電気通信サービス及びアプリケーションに関する研究 (Studies regarding nomadic telecommunication services and applications)	TSAGに対して、関係するSG間でノーマディックなサービスに関する研究の連携を強化するため、本サービスに関する研究を重要かつ緊急の案件として研究することを指示し、関連するSGにノーマディックなサービスを行うために必要な研究を行うことを指示
決議 64 [CC]	IPアドレス割当及びIPv6の展開の促進 (IP address allocation and encouraging the deployment of IPv6)	SG2及びSG3にIPアドレスの割当てと経済的側面を検討することを指示し、TSB局長に対して、TDB局長と協調してIPv6に関する各地域の要望に応えるための対応を指示
決議 65 [DD]	発番号の伝達方式 (Calling party number delivery)	技術的能力や国内法規に合わせて、関連するITU-T勧告に基づき発呼者番号を与え、発信された国が分かるように、国番号に発信者番号を付けること等を指示
決議 66 [GG]	TSBにおける技術的観察機能の創設 (The creation of a Technology Watch Function in the Telecommunication Standardization Bureau)	TSB局長に対して、技術的観察機能(TWF)をTSB内で正式なものとして形作り、TWFの分析結果等をTSAGやワークショップ等、関係するところに速やかに情報提供し、主な結果を発表するように指示
決議 67 [II]	用語のための標準化委員会 (SCV) の創設 (Creation of a Standardization Committee for Vocabulary (SCV))	ITU-Tで使われる用語は、英語でなされた各SGからの提案に基づき、残り5つの公用語への訳と併せて検討すること等を指示
決議 68 [JJ]	WTSAの進化しつつある役割における決議122の実施 (The implementation of Resolution 122 (Rev. Antalya, 2006) on the evolving role of the World Telecommunication Standardization Assembly)	途上国はITU-T以外の標準化会合に参加することが困難であることを踏まえ、TSB局長に対して、フォーラムやコンソーシアムの数が最小限となるように、標準化の優先度や課題の整理・調整のための産業界の幹部を集めたハイレベル会合を開催し、事前にアンケートを行って、途上国の要望を会合に提出すること等を指示
決議 69 [KK]	無差別的アクセス及びインターネット資源の使用 (Non discriminatory access and use of Internet resources)	他の加盟国が公衆インターネットにアクセスすることを一方的かつ(又は)無差別に邪魔するような行為を控え、そのような事が起きた場合には、TSB局長へ報告することを指示。また、TSB局長に対して、加盟国からの報告を取りまとめ、分析し、加盟国に報告することを指示
決議 70 [MM]	障害者に対する電気通信/ICT アクセシビリティ (Telecommunication/ICT accessibility for persons with disabilities)	SG2、SG16及びアクセシビリティ及びヒューマン・ファクターに関する研究課題に関するものについては、優先的に研究に取り組むこと等を指示

WTSA-08で新たに承認された決議 ～21件～(その3)

<p>決議 71 [NN]</p>	<p>アカデミア、大学及びそれらの関連研究機関のITU-T活動への参加の許可 (Admission of academia, universities and their associated research establishments to participate in the work of ITU-T)</p>	<p>TSB局長に対して、ボランティア・ベースの財政支援や現物支給等を活用し、ITU-Tとアカデミア、大学及びそれらの関連研究機関の連携を強化するため仕組み作りを指示。また、アカデミア等がセクター／メンバー又はアソシエイトとして少ない分担金でITU-Tの活動を行えるように、ITU理事会での検討を要請するよう指示</p>
<p>決議 72 [EMF]</p>	<p>電磁的環境における人体暴露に関する測定 (Measurement concerns related to human exposure to electromagnetic fields)</p>	<p>ITU-T（特にSG5）に対し電磁的環境における人体暴露に関して活動を広げ、加速させることを指示</p>
<p>決議 73 [ICT&CC]</p>	<p>ICTs及び気候変動 (Information and communications technologies and climate change)</p>	<p>現在行われているFGでの検討終了後TSAGにおいてITU-Tにおける今後の検討体制を決定すること及びITU-Tメンバー以外の専門家の意見を取り入れる仕組みを作ることを指示</p>
<p>決議 74 [F&Y]</p>	<p>ITU-T活動における途上国からのセクターメンバーの参加 (Admission of Sector Members from developing countries in the work of ITU-T)</p>	<p>途上国参加者の財政的負担がITU-DにおけるSG参加の財政的負担と等しくなるよう考慮し、途上国から新たな参加者がITU-Tへ参加可能とする必要な手段の採用を促進することを指示</p>
<p>決議 75 [WSIS]</p>	<p>WSISの結果の実施におけるITU-Tの寄与、WSISの理事会作業グループの一部としてインターネット関連の公共政策課題に関する専門グループの設立 (ITU-T's contribution in implementing the outcomes of the World Summit on the Information Society, and the establishment of a Dedicated Group on Internet-related Public Policy Issues as an integral part of the Council Working Group on World Summit on the Information Society)</p>	<p>ITU-Tの所掌の範囲内で、引き続きWSISの実施に関する対応をし、そのフォロー・アップをすることを指示。また、理事会に対して、国際インターネットに関する課題の研究を行い、その結果を広めるために、セクター・メンバーのみに開放された国際インターネットに関する公共政策課題に関する専門グループを設立することを要請するよう指示し、ITU事務総局長に対して、このグループが効果的に機能するように、ITUの予算を割当て、必要なサポートを行うように要請することを指示</p>
<p>決議 76 [I&I Testing]</p>	<p>適合性及び相互接続性試験、途上国支援、ITUマークプログラムの将来的な実現に関する検討 (Studies related to conformance and interoperability testing, assistance to developing countries, and a possible future ITU mark programme)</p>	<p>ITUマーク制度（ITU-T勧告に準拠する機器に対する基準認証及び相互接続性試験を行うもの）の導入に向けての決議。相互接続性を扱うITU-T勧告を可能な限り早急に作成すること、TSB局長に対して制度導入にあたってITU及び製造業者に対する全体的な影響や各国の法律並びに国内及び国際規格との整合性について検討を行い検討結果を2009年の理事会へ報告することを指示</p>

WTSA-08で改訂された決議 ～27件～(その1)

決議 1	電気通信標準化部門(ITU-T)の手続き規則 (Rules of procedure of the ITU Telecommunication Standardization Sector (ITU-T))
決議 2	研究委員会の責任及び担務 (Study Group responsibility and mandates)
決議 7	国際標準化機構(ISO)及び国際電気標準会議(IEC)との協調 (Collaboration with the International Organization for Standardization (ISO) and the International Electrotechnical Commission (IEC))
決議 11	郵便及び電気通信の両分野に係る業務の研究についての万国郵便連合(UPU)の郵便業務理事会(POC)との協調について (Collaboration with the Postal Operations Council (POC) of the Universal Postal Union (UPU) in the study of services concerning both the postal and the telecommunication sectors)
決議 17	途上国の利益に関する電気通信標準化 (Telecommunication standardization in relation to the interests of developing countries)
決議 20	国際的な番号資源の割当てと管理のための手続き (Procedures for allocation and management of international numbering resources)
決議 22	WTSA間のTSAGへの権限付与 (Authorization for TSAG to act between WTSAs)
決議 26	地域料金グループへの支援 (Assistance to the Regional Tariff Groups)
決議 29	国際電気通信網における代替通話手段 (Alternative calling procedures on international telecommunication networks)
決議 31	ITU-T作業への団体又は機関のアソシエートとしての参加の許可 (Admission of entities or organizations to participate as Associates in the work of ITU-T)
決議 32	ITU-T作業における電子的作業方法の強化 (Strengthening electronic working methods for the work of ITU-T)
決議 33	ITU-T戦略活動ガイドライ (Guidelines for ITU-T strategic activities)
決議 34	任意拠出金 (Voluntary contributions)

WTSA-08で改訂された決議 ～27件～(その2)

決議 35	ITU-T研究委員会及び電気通信標準化アドバイザリーグループ(TSAG)の議長及び副議長の任命及び最大任期 (Appointment and maximum term of office for chairmen and vice-chairmen of ITU-T Study Groups and of the Telecommunication Standardization Advisory Group (TSAG))
決議 38	IMT-2000活動のためのITU-T、ITU-R及びITU-Dの間の調整 (Coordination among ITU-T, ITU-R and ITU-D for IMT-2000 activities)
決議 40	ITU-T作業の規制的側面(Regulatory aspects of ITU-T work)
決議 43	WTSAに向けた地域準備プロセス (Regional preparations for world telecommunication standardization assemblies)
決議 44	先進国と途上国間の標準化格差の縮減 (Bridging the standardization gap between developing and developed countries)
決議 45	ITU-TのSGをまたがる標準化活動の効果的な調整とTSAGの役割 (Effective coordination of standardization work across study groups in ITU-T and the role of TSAG)
決議 47	国番号トップレベルドメインネーム (Country Code Top Level Domain Names)
決議 48	国際化ドメインネーム (Internationalized domain names)
決議 49	ENUM
決議 50	サイバーセキュリティ (Cybersecurity)
決議 52	技術的手段によるスパム対策 (Countering SPAM by technical means)
決議 53	セミナー・ワークショップの調整委員会の設置 (Establishment of a seminar and workshop coordination committee)
決議 54	地域グループの創設 (Creation of regional groups)
決議 55	ITU-T活動におけるジェンダー・メインストリーミング (Mainstreaming gender in ITU-T activities)

表1 未改訂決議(1件)

決議 18	無線通信部門と電気通信標準化部門間の作業割当て及び調整の原則及び手続き (Principles and procedures for the allocation of work to, and coordination between, the Radiocommunication and Telecommunication Standardization Sectors)
-------	--

表2 削除された決議(3件)

決議 42	成果主義予算の実施 – ITU-Tの活動計画への影響 (Implementation of results-based budgeting – Impact on planning in ITU-T)
決議 46	理事会のWSIS作業部会へのITU-Tの貢献 (ITU-T contribution to Council Working Group on the World Summit on the Information Society)
決議 51	スパム対策 (Combating spam)